



平成14年4月22日
日本原子力発電株式会社

平成14年度敦賀発電所燃料輸送計画について

当社、敦賀発電所の平成14年度燃料輸送計画（新燃料、使用済燃料）は、下記のとおりです。

1. 新燃料輸送計画

発電所名	輸送体数	搬出元事業者名	輸送時期
敦賀発電所1号機	68	(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン	第4四半期
敦賀発電所2号機	8	原子燃料工業(株)	平成14年4月2日輸送済

（注）輸送体数、時期は変更されることがあります。

2. 使用済燃料輸送計画

発電所名	輸送体数	輸送容器型式 容器数	輸送目的	搬出先事業者名	輸送時期
敦賀発電所 1号機	36 (約6トン)	NFT-12B型 3基	再処理	日本原燃(株) 使用済燃料受入・ 貯蔵施設	第3四半期
敦賀発電所 2号機	28 (約13トン)	NFT-14P型 2基	再処理	日本原燃(株) 使用済燃料受入・ 貯蔵施設	第1四半期

（注）輸送体数、時期は変更されることがあります。

3. 輸送物の種類

新燃料) A型核分裂性輸送物

使用済燃料) BM型核分裂性輸送物

以上

参考 輸送における安全性について

別添 A型及びBM型核分裂性輸送物の安全基準

輸送における安全性について

1. 輸送物の種類

A型及びBM型核分裂性輸送物

3. 輸送容器の概要

		A型核分裂性 輸送物		BM型核分裂性 輸送物	
形状		箱 形	円筒形	円筒形	円筒形
寸法	長さ	約5m	約5m	約6.4m	約6.3m
	幅	約1m	—	—	—
	高さ	約1m	—	—	—
	外径	—	約1m	約2.3m (上下緩衝体含む)	約2.6m (上下緩衝体含む)
重 量		約1.5トン (グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン製) ※輸送容器だけで 約0.9トン	・約3.7トン (原子燃料工業製) ※輸送容器だけで 約2.4トン ・約4.2トン (三菱原子燃料製) ※輸送容器だけで 約2.8トン	約73.4トン ※輸送容器だけで 約67.8トン	約115トン ※輸送容器だけで 約101.2トン
材 質		鋼 製		鋼 製	
備 考		BWR用(1号機)	PWR用(2号機)	BWR用(1号機)	PWR用(2号機)

3. 輸送物の安全確認

本輸送物については、別添に示す国の安全基準を満たすことを国の指定確認機関である
(財)原子力安全技術センターにより確認されます。

4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両等への積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しています。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防・警察および経済産業省等に連絡するとともに、適切な措置をとることとしており、十分な安全対策を講じています。

別 添

A型及びBM型核分裂性輸送物の安全基準

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条の2に基づき、国が定めている、『A型及びBM型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

(1) 線量当量率

表面で 2.0ミリシーベルト／時以下

表面から1m離れた位置で、0.1ミリシーベルト／時以下

(2) 表面汚染密度

α 線を放出する放射性物質の場合、0.4ベクレル／ cm^2 以下

α 線を放出しない放射性物質の場合、4.0ベクレル／ cm^2 以下

また、A型及びBM型核分裂性輸送物の試験条件には、

(1) 一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

(2) 特別の試験条件

9m落下試験、棒上の1m落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても、容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することとなっている。

以上